

第 第
號 號
送 送
月 月
日 日

回身吳振彰為吳之八定於月十六日
 發第廿七號以通德一號第廿有
 之外多今般德道省系於本本件
 並及他由召列來警護事項二
 吳之別我通了各德道局長二通
 德之旨同省運輸局長申申
 有之也系由了知在成德之

丙

決 判 月 日 施 行 月 日

主 管 局 及 受 付 日 月
 第 第 第 第 第 第 第 第
 號 號 號 號 號 號 號 號
 送 送 送 送 送 送 送 送
 月 月 月 月 月 月 月 月
 日 日 日 日 日 日 日 日



警 保 局 長
 警 務 課 長
 事 務 官



主任

案 起
 大 正 十 三 年 十 月 十 五 日

年 月 日
 局長
 局長

由 召 列 車 運 轉 德 德 道 地 物 二 於
 由 召 列 車 運 轉 其 他 三 吳 不 伴
 由 召 列 車 運 轉 其 他 三 吳 不 伴

小 務 官



鐵道省

記

- 一、御召列車ト行路ト又ハ之ヲ待避スル列車ノ種別、豫定區間、豫定時分ハ豫定次第關係鐵道局長ヨリ關係地方警察部長ニ通知スルコト（新ニ定メラレタル事項）
- 二、御召列車ト行路ト又ハ之ヲ待避スル列車ハ乗客ヲシテ御召列車側ニ對シテ顔乎足等ヲ車外ニ出サシメサル意味ヲ以テ御召列車ト相當スル時間内ニ限リ御召列車ニ面スル側ノ窓硝子ヲ閉鎖スルコト（違第十三號第三十八條參照）
- 三、御召列車運轉ノ停止車場範圍ニ於ケル警備并ニ掃蕩監視攝影ニ關シテハ次ノ各款ニ依ルコト（違第七〇九號第五條參照）
- イ、掃蕩監視者ニ對シテハ前條警察官署ニ於テ人選許可ノ上掃蕩監視ヲ組織シ警察官附添ト入場シ一切ノ監督ニ任スル旨
- 濱智地臨御ノ場合ニ於テハ參謀本部ニ於テ前段ノ取扱ヲ爲ス

本官令鐵道省鐵道局長ニ對シテ御召列車ノ行路ト又ハ之ヲ待避スル列車ノ種別、豫定區間、豫定時分ハ豫定次第關係鐵道局長ヨリ關係地方警察部長ニ通知スルコト（新ニ定メラレタル事項）

內務省警察局長

鐵道省鐵道局長

大正十二年十月三日

內務省
警察局長
（印）



鐵道省

モノトス

口、前線對峙ニ對シ其管内、幹線等雜務處辦ノ爲メ一名ノ鐵道職員ヲ附添ハシムルコト

ハ、入場セシムヘキ檢形者員數、檢形位置等ニ就テハ豫メ鐵道局ト警察官署トノ間ニ於テ協議決定スルコト

演習地臨御ノ場合ニ於テハ鐵道局ト警察本部トノ間ニ於テ前段ノ協議決定ヲ爲スモノトス

ニ、檢形地位ハ御道路ニ對シ約五圓ノ間隔ヲ保タシムルコト

ホ、檢形ニ際シテハ檢形ニ「マダホシニム」ヲ使用セシメテルコトニ警察官署若クハ參事本部ニ於テ取次フ管

與停車場内外ノ警備ニ就テハ次ノ各點ニ依ルモノトス
イ、橋内改札口ヨリ内部警備用御道路ヲ有シ又ハ御道路ヲ與專用ニ依シ得ヘキ際ニ在リテハ其表入口以内ノ警備ニ付テ

(此等ノ檢形ニ依リテ後ニ檢形ヲ用スル事)

鐵道省

ハ（除第三項）鐵道局ニ於テ之ニ任シ若シ外郎ヨリノ侵入者
 等ニ對シ警備上高念ヲ起シ難キ處アル場合ハ警察官署ニ助力
 フ求ムルコト

ロ、收札口ヨリ外部ノ警護ニ付テハ警察官署ニ於テ之ニ任スル
 警ナルモ鐵道局ニ於テモ出来得ル限リ細心ノ注意ヲ拂フコト

ハ、前號ノ警護ニ關シ待合室内ノ待合旅客ニ對スル取扱ニ就テ
 ハ出来得ル限リ不便ヲ及ボサシメサル様態メ關係警察官署ト
 打合ヲ爲スコト

其線路其他ノ警護擬ニ付テハ鐵道局ハ關係警察官署ト協議スヘキ
 コト（第三條第五十二條及第五十三條ノ補足）

鐵道省